

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

2026 年 8・9・10 月号

編集発行人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

代表理事 中村 信博

発行所

日本クリスチャン・アカデミー

京都市左京区一乗寺竹ノ内町 2 3

075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第 643 号

「戦争の反対語は、平和ではない。対話だ」。関西セミナーハウス活動センターが編んだ『「戦争の時代」にしないために』(キリスト新聞社)に収録された岡本厚さんの言葉である。五月二十三日には、同志社大学神学部と共催した出版記念フォーラムが開催された。主題講演、シンポジウムにおいては、何度もこの言葉が繰り返され、参加者の間で共有された。それから折りに触れてこの言葉を噛みしめ、励まされている。けれど、この言葉が本気で受けとめるなら、暴力的な対話はある得ないということにならないだろうか。対話の方法そのものが問われている。だから、気軽に口にできない言葉でもある。

いま世界で起こっている戦争は、しばしば「対立」という言葉に収まりきらない。武力によって国境や生活の場が変えられ、圧倒的な力の前で、逃げることも、抗議することも、申うことさえ十分に許されない人びとがいる。ガザ地区で目撃した惨状を「世界の終わりの光景」だったとする報告(『歴史学者、ガザに潜入する』、ジャン・ピエール・フイ

リュ著、堀千晶訳、河出書房新社)もある。向き合う二者があり、互いの主張を差し出し、妥協点を探るといふ対話の前提が、すでに破壊されているのだ。(「はなしあい」を標榜する私たちには、言葉を奪われた人びとの叫びと沈黙の前にして、自分の言葉と主張が、向き合う人びとの現実と本心にど

「祈りとしての〈はなしあい〉」



財団代表理事

中村 信博

あったのだろう。注目すべきは、この祈りが自己正当化と自己拡大の野望から距離を置いていかにある。祈る者の限界が自覚されているのだ。神殿の完成を誇るのではなく、なお神はここに閉じ込められないと祈る。その抑制のなかに私たちの〈はなしあい〉の姿が鮮やかに映し出されているように思われる。

日本クリスチャン・アカデ

ミーにも、受け継いできた歴史があり、施設があり、人のつながりがある。それらは感謝すべき宝物である。しかし、それらは私たちの正しさを拡張するための足場ではない。他者を私たちの側へ誘導するための道具でもない。(「はなしあい」を勝利の道具や説得の技術にしてはならない。所有できない神の前でこそ、祈ることから始めた旧約聖書の王を想起し、自己を相対化しながら一歩を踏み出したい。

「戦争の時代」にしないために、私たちにできることはそれほど大きくないだろう。けれど、「世界の終わり」に抗うために、隣人を、そして他者を招きつづけるための工夫はできるだろう。その工夫を凝らすとき、私たちの不完全さと不足こそが、むしろ他者を招き入れる余白となるのかもしれない。

日本クリスチャン・アカデミーが願いつづけた〈はなしあい〉が、祈りに近い営みとして深みを増しながら、たとえ小さく見えても、諦めることなく、継続されることを願っている。

(同志社女子大学名誉教授)

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー

2025 年度事業報告(総括)

1. 事業の推進

1) 公益目的事業

(1) 関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター

- ① フォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続し、発展させた。
- ② アカデミー運動の理念に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組んだ。

(2) 関西セミナーハウス

- ① 当財団の事業展開の拠点として、関西セミナーハウス活動センターの公益目的事業に施設を提供した。
- ② 当財団の目的達成に資する諸団体が行う公益目的事業を支援するため、宿泊施設及び会議場を諸宗教団体、労働組合、文化・社会活動団体、教育機関・学会・研究会等に供した。

(3) 広報活動

- ① 関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター及び関西セミナーハウスの活動状況について、機関紙「はなしあい」、ウェブサイト等によって継続的に情報を発信した。

- ② 機関紙、ウェブサイト等により、年度事業計画、収支予算、事業報告、決算報告、その他当財団に関する情報を公開した。

2) 収益事業

(1) 関西セミナーハウス

公益目的利用外の一般利用者、企業等への宿泊研修施設の貸出を行い、その収益の一部を公益活動に資した。

(2) 日本キリスト教会館

当財団所有の事務所用物件の一部を貸与し、その収益を公益活動に資した。

2. 事業運営推進

公益目的事業の推進に当たっては、継続的事業、新規プログラムを問わず、予算計画を持ち、必要財源を確保しつつ、安定的継続可能な運営を行った。

3. 賛助会員、寄附金

公益法人への寄付により受けられる税制優遇措置を活用し、アカデミー運動を支援する賛助会員および寄附者からの支援を仰いだ。

（ 以上 ）

貸 借 対 照 表

2026年3月31日現在

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産	32,392,191	30,333,843	2,058,348
2. 固定資産			
(1)基本財産	12,000,000	12,000,000	0
(2)特定資産	7,868,624	11,868,624	△ 4,000,000
(3)その他固定資産	263,092,109	272,104,373	△ 9,012,264
固定資産合計	282,960,733	295,972,997	△ 13,012,264
資産合計	315,352,924	326,306,840	△ 10,953,916
II 負債の部			
1. 流動負債	7,569,922	6,454,362	1,115,560
2. 固定負債	9,567,944	8,565,264	1,002,680
負債合計	17,137,866	15,019,626	2,118,240
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	298,215,058	311,287,214	△ 13,072,156
正味財産合計	298,215,058	311,287,214	△ 13,072,156
負債及び正味財産合計	315,352,924	326,306,840	△ 10,953,916

関東活動センター

●2025年度

「第15回 神学生交流プログラム」

校長…関西学院大学名誉教授 神田 健次さん
 講師…関西学院大学神学部教授 加納 和寛さん
 2026年3月23日(月)～25日(水)
 会場 日本クリスチャン・アカデミー 関西セミナーハウス



第15回 神学生交流プログラムが、3月23日(月)から神学部(2名)、日本ナザレン25日(水)の日程で、関西セミナーハウスにおいて開催された。校長は、神田健次先生が務め、講師には、加納和寛関西学院大学神学部教授をお迎えした。

今回は、計8名の参加者が与えられた。参加者は、西南学院大学神学部(1名)、日本聖書神学校(1名)、同志社大学

1日目は、神田校長による開会礼拝に始まり、オリエンテーションでは、参加者同士が話し合っ各プログラムの交流会などが決められた。この交流プログラムでは、参加者が協力して共に作り上げていくことを大切にしている。その後、自己紹介や神学校の紹介がなされ、豊かな交わりの時が与えられた。「講演1」は、講師の加納和寛先生が人生を通して、さまざまな教派(ルーテル、会衆派、メソジストなど)との出会いや信仰生活を

通して気づかれたことや、人生を左右するような人との出会いについてお話をいただいた。加納先生の生き様に触れることができた。



校長による「開会礼拝」が行われた。

3日目は、フィールドワークが行われた。神田健次校長の案内、吉岡恵生スタッフによるマイクロバスの運転によって、茨木市立キリシタン遺物史料館、高槻城跡(右近像)、高槻しろあと歴史館、高槻天主教会堂跡、高槻日吉台教会、カトリック高槻教会を見学した。

ただき、信徒の方と共に弁当をいただきながら交わりの時をもつことができた。お弁当の手配だけでなく手作りのおかずやお菓子までいただき感謝であった。カトリック高槻教会では、主任司祭の清川泰司神父様より、高山右近列福に関する貴重な資料を拝見したり、列福に伴うカトリック教会内の裏話をうかがうこともできた。

茨木市立キリシタン遺物史料館では、歴史の教科書を通して誰もが知っているフランシスコ・ザビエルの肖像画が発見された経緯や場所を見ることが出来、身近に潜伏キリシタンたちの信仰に触れることができた。また、高槻日吉台教会では、会場を開放して



関西セミナーハウス活動センター

●2025年度修学院フォーラム「福祉」第4回

（共催 京都YWCA）

「ヤングケアラーで終わらないロングケアラー」
「障がいをもつきょうだいがいる家庭で育った経験から」

講師 京都「障害者」を持つ兄弟姉妹の会（京都きょうだいの会）

奥 真木さん、麻中 友美さん

2026年3月7日（土）

会場 京都YWCAとZoomによるオンライン

お二人のお話の中で多くのことに驚かされた。子どもという大事な土台作りの時にきょうだいの世話を任せられ、家族を支えてきたこと、障がいをもつきょうだいがいるというところで受けたいじめ。その一方でそれらを跳ね返すような生きる力、たくましさも二人の人生から感じた。それは奥さんが世界人権宣言を知ったことにより自分も尊厳と



麻中 友美さん



奥 真木さん

再開し、健全な距離感で向き合いたいと願っておられることからである。きょうだいの問題は、とても単純なものではない。障がい者への差別、障がい者がいる家族への差別、女性が家事や介護を担わなければならないという性別役割分担の悪しき風習、家族の問題は家族で解決しなければならぬという固定観念。そこから私たち一人一人が自由になり、社会が変わらなければならぬと感じさせられた講座だった。

参加者にはケアラー当事者

もいらしており、「自分が抱えてきたしんどさを共有してもらえた気持ちで少し楽になった」というご意見や、行政機関に勤めている方からは「どのような支援が必要だったと思うか」という質問が出た。京都YWCAと関西セミナーハウスが、今後もしんどさを抱える方に寄り添い学びながら、様々な立場から意見を交わし、誰もが生きやすい社会に変えていくための場であり続けてほしい。



【お詫び】

関西セミナーハウス活動センターは、2026 年 2 月 14 日（土）、2025年度 修学院フォーラム「社会」第3回「新たな戦前No!—琉球を戦場にしていけない」を開催し、会場・オンラインあわせて 25 人の皆さまにご参加いただきました。講師は、金井創牧師（日本基督教団佐敷教会）でした。

その後、2026 年 3 月 16 日、沖縄県名護市辺野古沖で発生した船転覆事故により、研修旅行中の高校生お一人と金井牧師が亡くなりました。ここに心より哀悼の意を表します。また、事故に遭われたすべての皆さまにお見舞い申し上げます。

本来であれば、講演内容および質疑応答の概要を本紙でご報告する予定でした。しかし、講師ご本人による内容の確認・承諾を得ることがかなわななかで、本活動センターの判断のみによって講演記録または報告記事を掲載することは差し控えるべきであると判断いたしました。そのため、本号での掲載は見合わせることにいたします。

掲載をお待ちくださっていた皆さまには、心よりお詫び申し上げます。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

●2026年度修学院フォーラム「社会」第1回

「尊厳の学び」

「他者、そして自分を大切にするために」

講師 桜美林大学ビジネスマネジメント学群准教授、チャブレン

ジェフリー・メンセンディークさん

会場 関西セミナーハウスとZoomによるオンライン
2026年5月9日（土）

メンセンディーク講師は最初、「尊厳とは何か」について、ドナ・ヒックス教授（ハーバード大）の「デグニティ・モデル」を引用して説明をした。尊厳は誰もが生まれてくるだけで持っているもの、誰もが大切にしたいもの、その人をその人たらしめる厳かなもの、であるとし、「尊厳とは、生きるものすべての価値と弱さを認めて、受け入れ

ることからくる内面の平安である」と定義した。そして、「尊厳の10の要素」である、「アイデンティティーの受容」、「評価する」、「認識する」、「仲間はズレにしない」、「安全」、「公平性」、「自主性」、「理解する」、「良い方に解釈する」、「言動に責任を持つ」について説明を加え、私たちの日常生活や人間関係の中に、様々な尊厳の要素が大切にされたり、されなかったりする経験について、実例をもとに説明した。さらに、私たちは「なぜ他者の



当センターが2024〜2025年にわたり開催した連続フォーラムの講演録『戦争

の時代にしないために』の刊行を記念し、同志社大学神学部との共催のもと開催した。

ホルムズ海峡をめぐる緊張、ウクライナ情勢の長期化、そして東アジアでは、台湾有

会場 同志社大学 今出川キャンパス 神学館礼拝堂

2026年5月23日(土)

同志社大学名譽教授 石川 立さん

同志社大学名譽教授 岡本 厚さん

同志社大学名譽教授 中西 久枝さん

同志社大学名譽教授 西村 裕美さん

同志社大学名譽教授 賢淑さん

同志社大学名譽教授 立さん

同志社大学名譽教授 岡本

同志社大学名譽教授 中西

同志社大学名譽教授 西村

同志社大学名譽教授 賢淑

同志社大学名譽教授 立

同志社大学名譽教授 岡本

同志社大学名譽教授 中西

同志社大学名譽教授 西村

同志社大学名譽教授 賢淑

同志社大学名譽教授 立

同志社大学名譽教授 岡本

同志社大学名譽教授 中西

同志社大学名譽教授 西村

同志社大学名譽教授 賢淑

同志社大学名譽教授 立

同志社大学名譽教授 岡本

同志社大学名譽教授 中西

同志社大学名譽教授 西村

同志社大学名譽教授 賢淑

同志社大学名譽教授 立

同志社大学名譽教授 岡本

同志社大学名譽教授 中西

同志社大学名譽教授 西村

同志社大学名譽教授 賢淑

同志社大学名譽教授 立

同志社大学名譽教授 岡本

同志社大学名譽教授 中西



◆『戦争の時代にしないために』非暴力・平和主義を求めて』出版記念フォーラム開催報告(共催 同志社大学神学部)

主題講演

パネリスト 元岩波書店社長、元雑誌『世界』編集長 岡本 厚さん

同志社大学リベラルアーツアンドサイエンス教育センター教授 踊 共二さん

同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教授 中西 久枝さん

元立教大学コミュニケーション福祉学部教授 西村 裕美さん

大阪女学院大学・短期大学准教授 朴 賢淑さん

尊厳を傷つけてしまうのか」について、「尊厳を侵害する10の誘惑」として「挑発に乗る」、「面子を保つ」、「責任から逃げる」、「偽りの尊厳を求める」、「偽りの安全を求める」、「対立を避ける」、「自分が罪のない被害者だと思ひ込む」、「フィードバックを拒否する」、「罪悪感を避けるために他者を非難し侮辱する」、「偽りの親密さを求め、うわさ話をする」を紹介し、具体的な事例に基づき解説がなされた。第2部ではオンラインを含め、会場にて4つのグループに分かれ、「自分の尊厳が尊重された経験、または侵害された経験」及び「10の誘惑に照らして自分が誘惑に負けたエピソード」を各グループで話しあい、活発な議論が交わされた。さらに、会場参加者の自由参加による「講師を囲むひととき」では、会場を「茶室」に移し、開催されていた「茶の湯の会」に同席し、セミナーでの質問、感想、コメントなどを率直に共有し「はなしあい」の時間が持たれた。

事”が叫ばれるなど、不安が広がるこの時代を「戦争の時代」にしないために、いま私たちは何をすべきか。

本書はその問いに正面から向き合う渾身の一冊である。

刊行を機に、執筆者の先生方を迎え、非暴力と平和主義の思想と実践を参加者とともに改めて問い直す場を設けた。

当日は一般・学生を含む約60名が来場した。開会に際し、当法人・中村信博代表理事が主催挨拶を行い、同志社大学神学部学部長・村山盛章教授より共催挨拶をいただいた。

同志社大学今出川キャンパス神学館礼拝堂という信仰と

学びの歴史を刻む空間が、フトのもと、執筆者である岡本厚・踊共二・中西久枝・西村裕美・朴賢淑各氏が登壇し、歴史・神学・国際政治・平和など多角的な視点から活発な議論が展開された。

同志社大学神学部名譽教授の石川立先生が「聖書のことは、戦争の言葉」と題して行われた。為政者が語る「不機嫌な正義の言葉ではなく、神の義に根差した聖書の『ことば』の重要性を軸に丁寧論じられた。現代の国際情勢を聖書の本質的なメッセージを結びつけたその内容は、参加者の心に深く響き、続く議論への豊かな土台となった。

パネルディスカッションでは、村上みか委員のモデレーター。今後当センターは、本書や修学院フォーラムを軸とした対話の機会を継続してまいります。

平和への具体的な歩みを共に考える、実り多き場となった。

同志社大学今出川キャンパス神学館礼拝堂という信仰と

賛助会費・寄付金報告(1)

2026年4月1日~6月30日(順不同・敬称略)

◆財団本部

寄付

中井 博雅
柳井 一朗

◆関東活動センター

賛助会費

洞口 優子
平井 祐美子
神谷 伊勢男
河原田 美哉子
中村 信博
星野 宗吾
竹中 百合子
東矢 高明
押切 稔

寄付

白方 誠彌
高柳 允子
中井 博雅
小林 義彦
川北 かおり
竹中 百合子
東矢 高明
押切 稔

神学生交流プログラム寄付

市田 純子
中井 博雅
中村 信博

次頁に続く

プログラム案内

◆関東活動センター

■2026 年度 宗教対話Ⅰ

読書会「キリスト教と文学」

講師：柴崎 聡さん(詩人、日本聖書神学校講師)

日時：4月～2027年3月、第3火曜(8、12月休会)14:00～15:30

参加費：1,000 円/回

会場：関東活動センター会議室(キリスト教会館 1 階 16 号)

■2026 年度 宗教対話Ⅱ

「イエスとともに生きて死す～ハンス・キュンクの生涯と思想～」

講師：福嶋 揚さん(神学者)

日時：4月～2027年3月、第4木曜(8月、12月休会)19:00～20:30

参加費：全10回12,000円、学生8,000円

方法：Zoomによるオンライン講座

■2026 年度 今日の課題

「LGBTQ+とクリスチャン～性への理解が豊かにする、神・人・自分との関係」

講師：寺田留架さん(約束の虹ミニストリー代表)

前号の訂正とお詫び

前号の紙面の記載に一部誤りがありました。以下の通り訂正し、お詫びを申し上げます。

P 8 2025 年度賛助会費・寄付金
納入者ご芳名

関西セミナーハウス 寄付金

誤) 福田 為謙 (様)

正) 福田 為謙 (様)

尚、Web 版は、上記修正済みです。

財団本部 HP



関西セミナーハウス HP



関東活動センター HP



KSH 活動センター HP



公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 中村 信博

本部事務局

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館 1F
TEL 03-3207-6198

E-mail :info@academy-tokyo.com

郵便振替 00190-7-109437

関西セミナーハウス

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
TEL 075-711-2115
FAX 075-701-5256

E-mail :info@kansai-seminarhouse.com

関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
TEL 075-711-2117
FAX 075-701-5256

E-mail :office@academy-kansai.org

郵便振替 01020-1-5184

日時：②8月4日、③9月1日火曜
20:00～21:30

参加費：全3回6,000円、学生3,000円

方法：Zoomによるオンライン講座

■2026 年度 話し方ワークショップ

「さらに豊かな礼拝のために
ことばを届けるトレーニング」

講師：友野富美子さん(日本キリスト教団深川教会牧師)

日時：9月～12月、第2、4金曜(全7回)18:30～20:00

参加費：各回1,500円/回

会場：日本キリスト教団東中野教会

◆関西セミナーハウス活動センター

◎会場いずれも 関西セミナーハウス

■2026 年度 修学院フォーラム「いのち」

第1回「哲学によって社会をデザインする」

講師：谷川 嘉浩さん(哲学者、京都市立芸術大学美術学部デザイン科講師)

日時：9月12日(土)13:30～16:00

第2回「宣教としてのディアコニア

～釜ヶ崎キリスト教協会からの働きから～」

講師：秋山 仁さん(日本福音ルーテル豊中教会牧師)、佐々木 愛さん

(関西学院大学神学研究科、関西労働者伝道委員会)

日時：9月26日(土)13:30～16:00

第3回「『価値』よりも大切なこと

—私たちは何に向き合うべきか—

講師：石川 立さん(同志社大学名誉教授)

日時：10月24日(土)13:30～16:00

参加費：2,000円 学生1,000円

方法：会場と Zoom 併用

■2026 年度 開発教育セミナー「対面開催」

第3回「戦争ができる国にしないために
～フェミニスト平和運動から学ぶ～」

講師：秋林 こずえさん(同志社大学大学院グローバルスタディーズ研究科)

日時：10月3日(土)16:00～4日(日)12:00

参加費：13,500円(1泊2食、宿泊税込)

第4回「どうする？気候危機 ～いのち、

くらし、未来～」《共催 開発教育協会》

ゲスト：田中十紀恵さん(気候ネットワーク)、

北橋みどりさん(株)能勢・豊能まちづくり)、

時任晴央さん、横山 椋大さん

(「若者気候訴訟」原告)

日時：10月31日(土)15:00～11月1日(日)12:30

参加費：10,000円 学生7,000円

(1泊2食、宿泊税込)

■2026 年度 修学院フォーラム「社会」

<エネルギーを考える 14>

「なぜ今なお原発なのか？」[対面開催]

講師：青木 美希さん(ジャーナリスト、

作家)、横山 椋大さん(京都大学大学院/若者気候訴訟原告)

日時：10月11日(日)16:00～12日(月)祝15:30

参加費：16,000円 学生14,000円

(1泊3食、宿泊税込)

第4回「ポンコツでいいこう

—『後期新自由主義』への抵抗」

講師：桜井 智恵子さん(自由学園特任教授)

日時：11月7日(土)13:30～16:00

参加費：2,000円 学生1,000円

方法：会場と Zoom 併用

賛助会費・寄付金報告(2)

2026年4月1日～6月30日(順不同・敬称略)

◆関西セミナーハウス

寄付

白方 誠彌

中井 博雅

米田 功

福田 為謙

カプトムシまつり2026募金

◆関西セミナーハウス活動センター

賛助会費

島田 誠一

岡安 茂祐

竹中 百合子

岩坂 二規

中村 信博

牛田 匡

梅山 猛

クリスチャン M.ヘアマンセン

木村 護郎クリストフ

陶村 世佳子

鳥井 清司・操

浦 晴子

斉藤 洋子

真鍋 裕子

伏木 信次

堤 龍春

松田 光代

繁永 幸久

新宗連大阪事務所 公文孝枝

李 善恵

今川 泰彦

藤田 恭子

松岡 啓子

異 義治

福田 為謙

比嘉 美智子

高寺 幸子

織田 雪江

水戸 潔

橋 俊子

多木 秀雄

高塚 郁男

橋本 るつ子

木下 壽子

小笠原 純

山本 俊正

村上 みか

小澤 妙子

吉中 直子

西川 淑子

春名 康範

丸山 まり子

寄付

白方 誠彌

中村 信博

川北 かおり

伊藤 正子

長谷川 義紘

松下 美江

クリスチャン M.ヘアマンセン

浦 晴子

小久保 正

伊藤 威知郎

武山 泰子

斉藤 洋子

今川 泰彦

藤田 恭子

福田 為謙

石若 義雄

高寺 幸子

根岸 宏邦

野田 純一

桜井 希

柳井 一郎

山添 みどり

山本 知恵

西村 裕美

中西 久枝

大野 三枝子

山本 俊正

村上 みか

坪野 えり子

西川 淑子

織田 雪江

以上、感謝を持ってご報告申し上げます。